

# 蒲郡市 町内会の活動事例集

## もくじ

---

今回は最近の町内会の活動で特徴あるものを地区会長からお聞きし掲載しております!ぜひみなさまの地域でも良い取り組みがありましたら協働まちづくり課まで情報提供をお願いします!

### □ 西浦地区 馬場

区費の口座引き落とし 班長さんの集金業務の負担軽減

### □ 形原地区総代会

ふれあい活動を全総代区合同で実施

### □ 西浦地区総代会

地域の3つのイベントを同時開催!

役員さんの負担を軽減、イベントの参加者も増加

### □ 中央小学校学区 総代区

災害時に困らない地域の顔つなぎのために

小学生と野菜を育てる「中央ファーム」

### □ 吉光区

住みよい地域のために助け合う吉光「光友会」お助け隊



**区費の口座引落とし**  
**班長さんの集金業務の負担軽減**  
**西浦地区 馬場**

●プロフィール（令和7年8月時点）

- ① 地区：西浦地区
- ② 総代区：馬場
- ③ 構成：466世帯

## 1 主な取り組み内容

- 今まで班長さんが各戸に回っていた区費の集金を、口座引落としに変更した。

## 2 取り組むきっかけ

- 西尾市で町内会の役員をやっているお知り合いが、10年以上前から口座引落としを行っており、集金業務の負担が減ると聞いたことがきっかけとなった。
- 同じタイミングで常会長から口座引落としをやってみないかと提案をもらい実施に向けて検討をはじめた。

### 3 実現するために行ったこと・苦労したこと

- 事前に住民にアンケートを実施。結果、賛成368名、反対46名で89%が賛成となり実施することにした。
- アンケート結果を住民に周知し、スタートした。
- 口座引落しの手続きは住民自身にやってもらわないといけないので、依頼書の書き方などわかりやすく記入例を記載した。
- 金融機関に行くのが面倒、足がない…など、なかなか手続きをしてくれない方もいたが、常会長さんに個別に訪問してもらい、手続きしてもらうようお願いしてもらった。
- ほとんどは口座引落しに賛同してくれ実施しているが、15世帯は集金、29世帯は振込で行っている。
- 1件につき蒲信110円、農協55円の口座振替手数料がネックだが、班長の手当（均等割を2,000円→1,000円）を減額することで、区費の値上げをせずに実施している。

### 4 成果・変化がみられたこと

- 集金業務の負担が圧倒的に少なくなり、常会長さんや班長さんが楽になり、喜んでいる。

## 5 地域の人たちからの声

- 住民の方も楽になってよかったと言ってくれる。
- 最初に行ったアンケートでは反対だった方も、実施するなら口座引落しに変更すると言ってくれた方もいた。

## 6 マネしたい！この方に聞こう！

- 西浦地区 馬場総代

※連絡先等については、協働まちづくり課にお問合せください。

## 7 おわりに～参考資料～

回 覧

重要

令和6年8月25日

馬場地区 住民各位

馬場総代 壁 谷 隆

### 「区費等」の口座引落しの実施について

「残暑の候」とは名ばかりの猛暑が続きますが、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素は、馬場地区の運営に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、以前より 班長のみなさんから要望のありました「区費などの集金業務の簡略化」に対応させていただきため、来年度より 預金口座からの自動引き落としによる集金業務の効率化を図りたいと考えております。

つきましては、住民のみなさんに「口座引落し」の賛否をお伺いしたいと思っておりますので《口座引落しの内容》をご確認のうえ、別紙の《区費等の「口座引落し」に関するアンケート》の該当欄に、賛否について「○」、「×」をご記入ください

なお、区費等の口座引落しに反対の方が全体の2割(約100世帯)以上となる場合は、区費集金業務の実効性を考慮し、従来どおり 班長のみなさんに「集金」をして頂くことになりますのでご了承ください。

### 《口座引落しの内容》

- 口座の引落しは「蒲郡信用金庫」または「蒲郡市農協」の預金口座から引落としとなります（西浦支店の通帳でなくても大丈夫です）
  - 「蒲郡信用金庫」または「蒲郡市農協」に預金口座がない方は、振込をしていただきます（振込の場合、手数料は個人負担となります）
  - 口座引落しならびに振込は 5月15日の期限とし、入金の確認ができない人については、5月末を目途に 常会長が集金にお伺いします  
（未入金の人が多い場合、「班長さん」に集金をお願いする場合がありますのでご了承ください）
  - 口座引落しに関する費用（蒲信 1件 100円～、農協 1件 50円）については現在の班長手当のうち 均等割 2,000円を1,000円に変更し、区費の値上げはしません
  - 口座引落しの金額は、現在の「区費」と「八王子神社祭礼費」の合計金額とします（一般世帯の方は 6,000円となります）…(注1)
- ※「八王子神社祭礼費」は、お祭りの時に住民のみなさんにお酒切している「くじ」の景品の準備や、「ちゃらぼ活動」への補助のために使用している費用で、年行司の方にお渡ししています  
(昨年度実績で、95%のみなさんに納入して頂いている費用です)
- (注1) 今回、「班長さんの集金業務の簡略化」を目的としていますので、引落しの金額を「区費」と「八王子神社祭礼費」の合計額を考えていますが、「八王子神社祭礼費」の引落しに反対される方が多数の場合、「祭礼費」については従来通り 班長さんに集金をしていただく場合があります

- いきなり実施して反対がでてしまわないように、事前にアンケートを実施されていきました。住民の意見を聞く機会を設けており、とても素晴らしい取り組みだと思いました。
- 振込手数料については住民の方も心配なところと思いますが、班長さんの報酬から支払うことがしっかりと書かれており、不安なく賛成できたのではないかと思います。
- 班長さんの集金業務の負担についてはどの町内会でも課題になっていると思います。口座引落としやキャッシュレス決済など時代の流れに応じて取り入れていく必要があるなと感じました。
- 最初の区費の引き落としのお知らせに、区費納入状況を公表していることも、自分も口座引落としに変えてみようかなと思うきっかけになり、とてもいいなと思いました。

令和7年度 馬場地区 区費納入状況

常会	世帯数	うち 口座引落とし	うち 振込	うち 集金
1常会	116世帯	109世帯	3世帯	4世帯
2常会	118世帯	107世帯	9世帯	2世帯
3常会	95世帯	81世帯	9世帯	5世帯
4常会	88世帯	80世帯	4世帯	4世帯
総代担当	24世帯	0世帯	24世帯	0世帯
合計	441世帯	377世帯	49世帯	15世帯

※「総代担当」の24世帯は アパート入居世帯数等で、振込対象先は4件である

- 馬場ではアンケートの実施からアンケート結果の公表、振込依頼書の書き方まで丁寧に住民に公表・説明して実施しており、お手本となるものだと思います。馬場のマネをすれば、みなさんの地域でもスムーズに実施できるのではないかと思います。

《記入例》

(取扱店用)

契約区分	1 新規	規
	2	口座変更
	3	解約

**貯金口座振替依頼書**

日付 年 月 日

**蒲郡市** 農業協同組合 御中

私は、下記の収納企業から請求された金額を私名義の下記貯金口座から貯金口座振替によって支払うこととしたいので、貯金口座振替規定を確約のうえ依頼します。

収納企業名	<b>馬場総代</b>		
-------	-------------	--	--

貯金口座	(フリガナ)	<b>バンバ イチロウ</b>	組合への届出印	<b>蒲郡市 農業協同組合 西浦支店</b>
	貯金者名	<b>馬場一郎</b>		金融機関番号 店番号 <b>6606026</b>
				貯金種目 <b>1. 普通</b> 2. 当座
				口座番号 <b>0123456</b>

**ふれあい活動を全総代区合同で実施!**

**中学生の地域での活躍の場を確保!**

## **形原地区総代会**

●プロフィール（令和7年8月時点）

①地区：形原地区

②総代区：形原1区、形原2区、形原3区、形原4区、形原5区、  
形原6区、形原7区、形原8区、形原北浜区の9つ

③構成：合計で5, 885世帯

### **1 主な取り組み内容**

○ 総代区ごとに行っていたふれあい活動を形原中学校区合同で、お祭り「形原っ子フェスティバル」として2年連続で実施した。

### **2 取り組むきっかけ**

○ コロナ以降、各総代区でお祭りができなくなったり、少子化で中学生が少ない地域がでてきてしまったり、各総代区で行っていたふれあい活動の運営・実施が難しくなってきた。それなら9つの総代区合同にし、形原中学校区でお祭りをやろう!となり「形原っ子フェスティバル」を実施した。

### 3 実現するために行ったこと・苦労したこと

- 今年で2年目となるイベント。協力者集めは苦労するところだが、各総代区から10名程出してもらい、合計90名に協力してもらった。また、今までイベントに関わってくれた方への声掛けや、形原1区のお助け隊・4区のしあわせ会の方も借りて協力者を集め、イベントを実施した。
- 協力者のボランティアスタッフは前半・後半とシフト制にし、交代で休憩をとることでイベントを楽しめる時間をつかった。子どもから大人まで、自分たちも楽しんでやることを大事にした。
- 参加者集めは、近くのコンビニにポスターを貼ってもらったり、保育園、小中学校にもチラシを配布。もちろん回覧もしている。たくさんの方に参加してもらえるよう周知した。
- 中学校からは86名のボランティアが参加してくれた。学校に依頼して集めてもらったが、学校とやりとりする際は話す回数を極力減らし、学校に負担をかけないこと、授業の時間に合わせて行うことに気を付けて行った。
- 中学生の活躍の場を設けたい！自分たちでお祭りをつくっているということを感じてもらいたい、という思いから今年

初めて中学生のやりたいことを聞く会議を行った。生徒会のメンバーが参加し、地域の大人がバックアップするから！と伝え、本当にざっくばらんに意見をもらい、その意見の1つであった、大道芸を呼ぶことが決定した。

#### 4 成果・変化がみられたこと

- 少子化により、ふれあい活動の実施が難しくなっていた総代区も、中止せず実施することができ、子供たちの地域での活躍の場が確保された。
- 各総代区で行うと、少なく見積もっても10万円は必要だが、今年は各総代区6万円程になり経費を節約できた。協力者についても10名程少なく実施できている。

#### 5 未来の目標

- 前年度は800人が参加、今年は1,300人が参加した。来年ももっと多くの参加者を目標に頑張りたい。
- 昨年は運動場でイベントを実施したため、車を止められる場所がなかったが、今年から運動場を駐車場にしたことで来場者が来やすくなり、たくさんの方に来てもらえた。

## 6 マネしたい！この方に聞こう！

- 形原地区の総代のみなさま、形原1区総代、形原地区会長

※連絡先等については、協働まちづくり課にお問合せください。

## 7 おわりに

- 子供たちに、自分たちでお祭りをつくっているんだ！と感じてほしいと、形原地区会長の與田さんが言っていました。

「地域の大人たちがバックアップするから！」と子供たちに伝え、安心して子供たちが意見を言える場を設けたことが素晴らしいと思います。子供たちが地域の活動に参加することで、その親御さんや周りの方も地域の活動に参加し、地域住民の町内会の活動に対しての理解が深まり、イメージアップにも繋がるのかなと思います。

- 学校とのやりとりについて、極力回数を減らし、学校側の負担にならないようにしている点も、イベントを成功させるためにとても重要だと思いました。
- 蒲郡市で先進的にふれあい活動の合同実施を始めたのが形原地区でした。この活動を参考に他の地区でも同じ動きが始まっています。子供たちの活躍の場をなくさない。子供たちにお祭りをつくっているということを体感してほしいという素

敵な思いから始まり、形原の町民や子供たちが一体となって  
盛り上がっている素晴らしいイベントでした。



**地域の3つのイベントを同時開催！**  
**役員さんの負担を軽減、イベントの参加者も増加**

## **西浦地区総代会**

●プロフィール（令和7年8月時点）

- ① 地区： 西浦地区
- ② 総代区： 稲生、馬場、知柄、橋田、龍田の5つ
- ③ 構成： 合計で2, 007世帯

### **1 主な取り組み内容**

- 総代区ごとに行っていたふれあい活動を同時開催した。
- 併せて今までバラバラに行っていたイベント（公民館納涼夏まつり、津島・田土神社祭礼）も今年はじめて同時開催した。

### **2 取り組むきっかけ**

- 中学生が企画立案して行っている地域のふれあい活動について、地域住民の減少などで地区ごとの参加者が減少していることから、町全体のイベントとして「西浦を盛り上げよう」と5地区総代の意見が一致した。
- 常会長や地区役員、中学生など関係者の負担軽減も図れることから、5総代区合同で実施した。
- 昨年から実施している 形原地区の活動を参考にした。

### 3 実現するために行ったこと・苦労したこと

- 中学生の人数が減ってきており、ふれあい活動に支障が出始めてきた地区もあることから、西浦の総代会として中学生の活躍の場をきちんと確保し、町を盛り上げていって欲しいという思いから、合同で実施していこうという意見がでた。
- ふれあい活動は学校が関係するため、早めの連絡が必要。昨年の12月から学校側には合同でやりたいと伝えていた。
- ふれあい活動を合同で行うことが決まり、さらに地域一体のイベントとして盛り上げようという意見から、公民館と八王子神社の関係者を交えて同時開催への合同会議を開催し、公民館の「納涼夏まつり」と八王子神社の「津島・田土祭」も一緒に実施することで話がまとまった。
- 八王子神社で奉納するチャラボコ参加の小学生など、人の動きを考慮して開始時刻の調整をした。

### 4 成果・変化がみられたこと

- 今まで各イベントで計3日かかっていたものが1日になり、イベント関係者や地域の役員の負担が減った。

- 同時開催することで町の人への周知が行き届き、いつも以上に多くの方が参加してくれ、大変盛り上がった。

## 5 地域の人たちからの声

- 昨年は用意したお菓子が半分以上余ってしまい参加者が少なかった神社祭礼だったが、今年はアツという間に無くなった。いつも以上に人が集まってよかった。来年もこの形で実施してほしい！
- 地域のおじさん、おばさんたちと関わることができた。
- 中学生が頑張っていてすごいなと思った。私も中学生になったら、こんな中学生になりたい。
- 今年は参加する側だったけど、次は運営に回ってみたい。もっとたくさん地域で交流できるようにしたい。

## 6 マネしたい！この方に聞こう！

- 西浦地区の総代のみなさま、西浦地区会長  
中学校の先生、公民館の主事



## 7 おわりに

○ 子どもが減っている、地域の役員やイベントに関わる方の負担が大きいというのは、どこの地域でも起きている課題だと思います。

子どもたちの活躍の場をなくしたくないという壁谷さんはじめ、西浦のみなさんの思いで活動を無くすのではなく、できる形で行おうという工夫されたイベントでした。

○ 同時開催が重要と公民館の壁谷主事が言っていました。

3つのイベントを統合し1つのイベントにするのではなく、3つのイベントを同じタイミング・場所で行うだけ。

そうすることでそれぞれのイベントをそれぞれが主体となっていく意識を持つことができ、業務の押し付け合いにならなかったそうです。イベントを継続して続けていくために重要なことだと思いました。

○ 西浦地区内の全総代区合同でふれあい活動を実施しただけでなく、地域の2つの行事も同時に開催した点が素晴らしいところだと思いました。ぜひみなさんの地域でも参考になればと思います。



# 災害時に困らない地域の顔つなぎのために 小学生と野菜を育てる「中央ファーム」 中央小学校学区 総代区

●プロフィール（令和7年8月時点）

- ① 地区： 中央小学校学区の総代区
- ② 総代区： 栄町、吉光区、宮成区、蒲郡東、蒲形の5つ
- ③ 構成： 合計で3, 592世帯

## 1 主な取り組み内容

- 小学校と地域が一体となって行う畑の運営。中央小学校の駐車場に畑をイチから作り、小学生と地域が協働で楽しみながら野菜を育てる「中央ファーム」を発足した。
- 小学校との協働作業の日は月に1度。主に野菜の収穫や種まきを一緒に行う。育てて食べるまでを小学生に体験してもらい、やらされている感なく、楽しんで取り組んでもらうことを大事にしている。
- 中央ファームだよりを月に1度発行し、活動内容を紹介。学校にも配っている。

## 2 取り組むきっかけ

- コロナ禍の令和3年10月、ほとんどの事業が中止になってしまい、地域の人たちが顔を合わせることがなくなってしまっていた。災害時は地域の人たちの顔がわかっていることが重要。「なんとかせんといかんよね」という意見があり、外でできることなら良いのでは?となり、畑を作って運営してみよう!という案が出た。
- 当時の中央小学校の校長先生も何かやりたいと賛成してくれ、小学校の駐車場に畑をつくり、小学生と一緒に畑を運営することが決定した。

## 3 実現するために行ったこと・苦労したこと

- 農業未経験の全くの素人が集まり、何もない学校の駐車場を開墾し、耕し、畑をつくった。
- 学校には負担をあまりかけないよう共同作業の日は月に1度とし、それ以外は地域のメンバー20名程が交代で、草むしりや水やりなどの畑の手入れを行っている。
- 学校は野外学習等、授業の一環で野菜の収穫や種まきを行っている。

- 立ち上げ時の2年間は、蒲郡市まちづくり事業助成金を申請し、合計15万円補助金をもらい、畑づくりを開始した。それ以降、必要な経費は社会福祉協議会の補助金を活用。年間4万8千円の補助金（参加人数に応じて変動）をもらっており、たね等の購入の費用に充てている。
- 始まってしまえば苦労はなく、地域みんなで楽しんで行っている。

#### 4 成果・変化がみられたこと

- 地域の顔つなぎができています。災害時に顔が分かることで助け合い、協力することができる。
- 避難場所となる小学校と連携できていることも災害時のスムーズな避難に繋がる。
- 中央ファームにならって、竹島小学校や塩津小学校でも同様の活動が始まっている。

#### 5 マネしたい！この方に聞こう！

- 中央ファーム会長（吉光区総代）、中央ファームだよりを作っている（宮成区元総代）

※連絡先等については、協働まちづくり課にお問合せください。

## 7 おわりに

- コロナ禍だからしょうがないよねとならずに、災害が起きたときのために、地域の顔つなぎをしよう！と発足した素晴らしい活動です。コロナ禍が明けた今も継続して活動を行っており、地域の方と小学生と一緒に活動ができる、大切な地域の交流の場となっています。
- 中央ファームだよりを作っている牧野さんが、この活動の噂が広まり、地域の高齢者施設にもやり方を教えに行ったと言っていました。牧野さん自身、農業経験は1度もありませんが、イチから勉強し、手探りで中央ファームを続けてきたそうです。地域にあるのに地域と交流が少ない高齢者施設の利用者も一緒になって行える活動であり、畑作業は年齢関係なく行うことができる、その点もとても良いなと思いました。
- 災害時は、迅速な情報共有や助け合い、要援護者の把握などが必要であり、地域の方たちと顔見知りの関係であることがとても重要です。そのために日頃から地域で少しでも交流しようと始めた素晴らしい活動だと思います。



## 住みよい地域のために助け合う

### 吉光「光友会」お助け隊

# 吉光区

#### ●プロフィール（令和7年8月時点）

- ① 地区： 蒲郡町部地区
- ② 総代区： 吉光区
- ③ 構成： 合計で214世帯

## 1 主な取り組み内容

- 地域の有志、13名程が会員となり、住みよい地域のために活動している。メンバーの年齢は60歳～81歳。
- 活動内容は様々で、公園や神社の清掃や木の剪定、草刈りや、地域の高齢者の生活のお困りごとを解決するために支援したり、子どもたちに平和を教える授業などがある。  
全てメンバーがボランティアで行っている。
- 毎週日曜日には10名ほどのメンバーが集まり、神倉公園で清掃活動をしている。

## 2 取り組むきっかけ

- もともと地域で行っていた、県の制度（愛・道路パートナーシップ事業）を活用して実施している、道路の清掃美化活動をサポートするために、令和2年にお助け隊を立ち上げ、公園の清掃などを中心に行っていた。
- 日々の活動の中で、公園の花壇の手入れがされていないことや、ゴミ出しや木の剪定ができずに困っている高齢者がいることに気づき、花壇の手入れや高齢者の支援活動もあわせて開始した。
- 近年、自然災害が急増していることから、新しい取り組みとして、子どもに平和を語り継ぐ活動を一昨年からスタートした。

## 3 実現するために行ったこと・苦労したこと

- 神社の松の剪定がとても大変。高いところは木登りしつつ行うので、体力的にしんどいが、メンバーみんな、地域を綺麗にできることにやりがいを感じているし、活動が終わった後の宴会（もちろん実費！）をととても楽しみにしている。
- 子どもに平和を語り継ぐ活動は、一昨年から始めたばかり。参加者が2名しかいなかったことから、昨年は実施しなかった。今年は別の行事と合同で行うなど工夫し、参加

者を増やしたいという思いから、吉光区の常会が主で行っているふれあい活動（焼き鳥のふるまい）と一緒に行うことで19名が参加した。子ども会の役員さんが協力的に声掛けしてくれたことも参加者の増加につながった。

#### 4 成果・変化がみられたこと

- 高齢者の支援活動は申し出により行っている。道路にはみ出してしまっている木の剪定を行い、とても喜んでくれた。
- 公園の花壇の手入れは、子ども会の活動として実施していたが、活動が少なくなり花壇の手入れが行き届かなくなっていた。それをお助け隊が変わって行うことで、綺麗な花壇を保つことができている。

#### 5 マネしたい！この方に聞こう！

- 吉光区総代、吉光区の区民の方

※連絡先等については、協働まちづくり課にお問合せください。

#### 7 おわりに

- 清掃活動などを行うだけではなく、課題にあわせて活動内容を変えていき、工夫されています。また、子どもたちに平和を語り継ぐ活動については、参加者を増やすために、別の

イベントと合わせて行うなど、考えられている点が素晴らしいと思いました。

- 蒲郡市内ではいろいろな地域で特色のある「お助け隊」が活躍されています。先進的に行っている形原1区などがありますが、今回は吉光区のお助け隊の松井さんに話を聞きました。生活の中でどうしても問題は起きてくるものだと思います。お助け隊は、そんな地域で起こっている問題を地域のみんなの助け合いにより解決しようとされている活動だと思います。こういった素敵な地域での助け合いの活動がこの先も継続していくといいなと思います。





